

SANWA  
SHUTTER



Tajima

VENIX

Smillion



2010年11月 1日

三和ホールディングス株式会社

[www.sanwa-hldgs.co.jp](http://www.sanwa-hldgs.co.jp)

# 第76期 2011年3月期 第2四半期決算説明資料



The Genuine. The Original.  
COVERSEAS POSITIVE

ASD  
Access Systems  
DIVISION

Wayne  
Dalton

GENIE  
AUTOMATIC  
The American Choice

Horton

TODCO

navoform

SAFESTEEL-SANWA

三和  
SDS

## 目 次

- はじめに
  - 1. 国土交通省からの処分について
  - 2. 最近の連結業績推移
- 2010年度 第2四半期(実績)
  - 3. 決算ハイライト
  - 4. 比較損益計算書
  - 5. 連結売上実績(セクター別)
  - 6. 営業利益増減要因
- 2010年度 通期(予想)
  - 7. 外部環境
  - 8. 通期予想ハイライト
  - 9. 売上(セクター別)
  - 10. 営業利益増減要因
- 戦略課題の進捗
  - 11. 構造改革及びTCRの取組み(国内)
  - 12. ODC&WD統合シナジー
  - 13. ODC新型開閉機発売について
  - 14. NFの構造改革及びTCR
  - 15. アジア事業の基盤拡充
  - 16. グローバルシナジー

### ◆参考資料

- 1. 各地域の動向(日本、米国、欧州)
- 2. 主要経営指標
- 3. トピックス(財務、国内・海外事業)
- 4. セクター別連結業績の概要
- 5. 製品別受注高・売上高(三和SS)
- 6. 設備投資額と減価償却費(連結)
- 7. 2010年度ODC業績予想
- 8. 2010年度NF業績予想

### 「予想」に関する注意

当資料に記載されている内容は、様々な前提に基づいたものであり、記載された業績予想、各施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

# 1. 国土交通省からの処分について

## 当社子会社の建設業法に基づく営業停止処分について

当社子会社の三和シャッター工業株式会社は、本年6月9日、公正取引委員会から独占禁止法に違反する行為（近畿地区における受注調整関係事件）があったとして排除措置命令を受け、本年8月10日に同命令が確定したことに伴い、10月25日付けで国土交通省関東地方整備局から下記の通り建設業法第28条第3項に基づく営業の停止命令を受けました。

お取引先様、株主様ならびに関係者各位には、多大なるご心配とご迷惑をお掛けしますことを、心より深くお詫び申し上げます。

当社グループは、今回の処分を厳粛に受け止め、今後このような事が起きることのないよう、コンプライアンスの一層の徹底に取り組み、信頼の回復に全力で傾注してまいります。

### 1. 営業の停止命令の内容

- (1) 処分対象 三和シャッター工業株式会社（注1）
- (2) 停止を命じられた営業の範囲 全国における建具工事業に関する営業（注2）
- (3) 期間 平成22年11月9日（火）から12月8日（水）までの30日間

### 2. 今後の業績に与える見通し

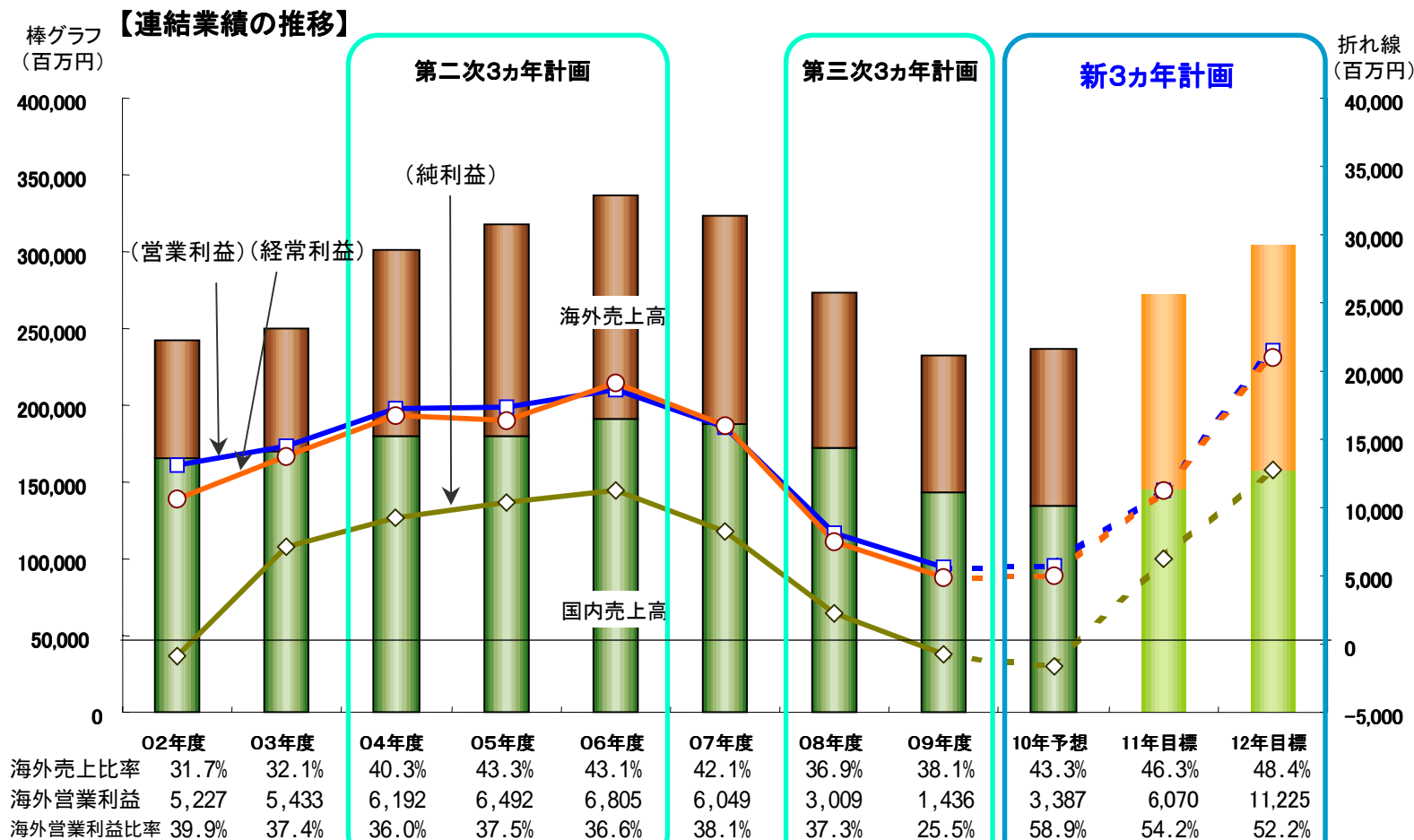
現段階で今回の処分による業績への影響を予想することは困難でありますので、今後の経緯を見ながら、業績予想の修正が必要となった場合は、速やかに情報開示を行います。

（注1）沖縄三和シャッターは営業停止処分の対象ではありません。

（注2）工事を伴わない建具の売買、建具以外の内装工事、一部の修理等は営業停止対象ではありません。

## 2. 最近の連結業績推移

- 06年度に営業利益、純利益で過去最高を達成
- 08年度は、グローバル経済危機の発生及び在外子会社のれん償却により、大きく減収減益
- 09年度は、国内設備投資及び国内・米国新築住宅着工が歴史的な低水準となり、業績は2000年度以来最低水準に
- 10年度は、新3カ年計画初年度であり、ウェインダルトン(WD)連結寄与及び外部環境回復遅れをコスト削減等により利益確保に注力するものの、課徴金支払等により最終赤字の見込み



為替レート	米ドル	ユーロ
2005	118.07	139.83
2006	119.11	156.50
2007	114.15	166.66
2008	91.03	127.96
2009	93.72	130.56
2010予想	87.00	115.00

2009年度より期中平均レートを適用しています。

純損失期の主な要因	
02年度:	ODC営業権減損処理
09年度:	ソフト投資額一部除却
10年度:	課徴金支払 WDのれん一括償却

■ 2010年度 第2四半期(実績)  
2010年4月～2010年9月

## 3. 第2四半期決算ハイライト

## 《第2四半期連結実績》

	上期累計実績	1Q	2Q	修正予想	修正予想比(額)	前年実績	前年比(額)	(率)
売上高	1,106億円 【1,138億円】	464億円	642億円	1,120億円	△14億円	1,080億円	26億円 【57億円】	(2.4%) 【5.3%】
営業利益	4億円 【12億円】	△24億円	28億円	2億円	2億円	△6億円	9億円 【18億円】	(+)
経常利益	1億円 【9億円】	△26億円	26億円	2億円	△1億円	△8億円	8億円 【17億円】	(+)
当期純利益	△34億円 【△26億円】	△47億円	13億円	△34億円	△0.5億円	△9億円	△25億円 【△17億円】	(-)

【】内はのれん償却前、09年度為替レート適用の数値。前年との実質対比のために表記したもの。

## 《2Q決算のポイント》

## 〈要約〉

売上は、日米欧の建設市場の回復が想定より遅れているが、WD統合が寄与し、増収を確保。利益面では、コストダウン、構造改革を積極的に進め、営業利益が期初予想を上回り、WDのれん償却前の実質ベースで18億円の増益となった。最終利益は、多額の公取課徴金の支払により大幅赤字となった。

## 売上高

売上実績は、2.4%(26億円)、為替影響を除く実質ベースでは5.3%(57億円)の増収。国内は、△8.6%の減収。住宅市場が緩やかに回復、軽量シャッターや窓シャッターが増収を確保したが、重量シャッターやBMDア等ビル建材が依然低迷しており、減収となった。米国(ODC)は、現地通貨ベースで69.1%の大幅増収。WD統合効果(ドア事業は前年比倍増)や車両ドアの急回復(前年比29%増)が増収に寄与したが、住宅市場は第2Qに入り鈍化し、商業用需要は依然として低迷状態が続いている。新型開閉機の発売遅れもマイナス要因に。欧州(NF)は、現地通貨ベースで△12.9%と大幅減収。建設市場は依然低迷しているが、住宅市場が回復しつつあり、減収幅を縮小しつつある。

## 営業利益

連結実績は、4億円と期初予想を上回った。WDのれん償却前の実質営業利益は12億円と、前年の赤字から17億円の大幅改善となった。国内は、ビル建材を扱う子会社は減益となったが、三和シャッターが軽量シャッター、メンテ事業等の堅調、原価・固定費の削減努力で増益を確保し、全体で期初予想を上回り増益を確保。米国(ODC)は、WD統合効果、鋼材値下り(前年比)等により\$11百万の利益を確保、期初予想の2倍を上回る大幅増益を確保した。欧州(NF)は、前年の赤字幅を半減したものの△1百万ユーロの赤字となった。

## 経常利益

連結実績は1億円の黒字。営業利益との差額拡大は有利子負債の一時的増加等による金融収益の悪化が主因。

## 当期純利益

△34億円の赤字。多額の課徴金支払(28億円)によるもので、ほぼ予想通りの実績。

為替レート	2008/6	2009/6	2010/6
1ドル	106.42	95.98	91.02
1ユーロ	168.07	128.33	119.27

## 4. 比較損益計算書

為替レート	2008/6	2009/6	2010/6
1ドル	106.42	95.98	91.02
1ユーロ	168.07	128.33	119.27

(億円)

連結P/L	09年上期累計		10年度1Q		10年度2Q		10年上期累計		前年比
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	
売上高	1,080	100.0	464	100.0	642	100.0	1,106	100.0	
売上原価	810	74.9	346	74.6	481	74.8	827	74.7	+0.2%
売上総利益	271	25.1	118	25.4	162	25.2	279	25.3	
販管費	276	25.6	142	30.6	134	20.9	276	24.9	▲0.6億円
営業利益	-6	-0.5	-24	-5.1	28	4.3	4	0.3	
営業外損益	-2	-	-2	-	-1	-	-3	-	▲1億円
経常利益	-8	-0.7	-26	-5.5	26	4.1	1	0.1	
特別損益	-4	-	-30	-	-3	-	-33	-	▲29億円
当期純利益	-9	-0.9	-47	-10.1	13	2	-34	-3.1	

## 〈前年比内訳〉

原価率は0.2%改善。鋼材  
値上がり影響は年後半

名目削減額 ▲0.6億円  
のれん償却 ▲7.8億円  
為替影響 +7.4億円  
実質削減額 ▲1.0億円  
※WD統合による固定費増  
(約20億円)を吸収した。

持分法投資損益 +0.1億円  
金融収益 ▲0.9億円  
その他 ▲0.2億円

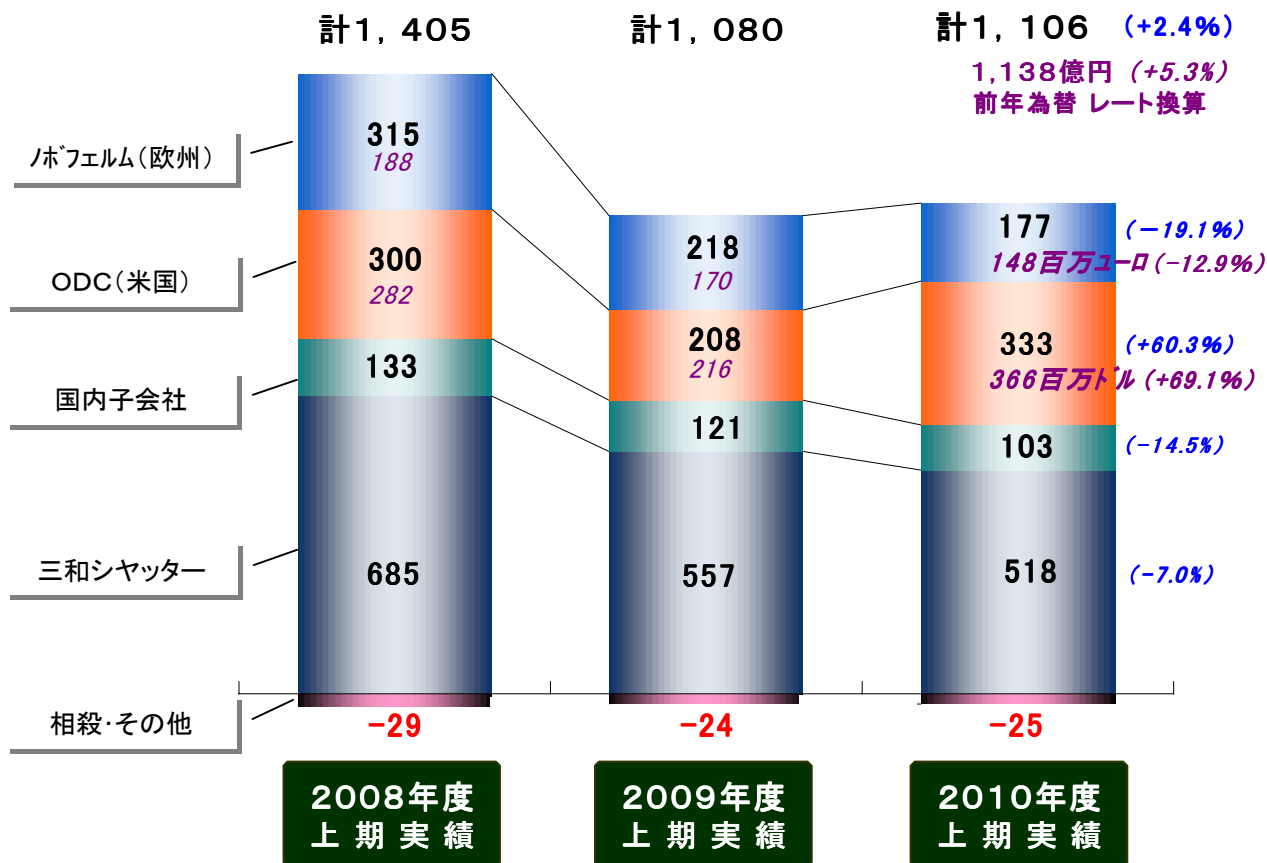
課徴金 ▲28.2億円  
その他 ▲0.8億円

## 5. 第2四半期連結売上実績(セクター別)

単位

億円 百万ドル 百万ユーロ  
(前年増減率)

### 売上高



※三和シャッターは、同社のみ個別数値  
(三和HDは、相殺・その他に含む)

#### <ノボフェルム(欧州)>

##### ◆現地通貨で△12.9%の減収

- ①住宅市場底打ちでガレージドアは徐々に改善
- ②設備投資が減速し、産業用ドアが減収

#### <ODC(米国)>

##### ◆現地通貨で69.1%の増収

- ①WD統合により大幅増収となるも、住宅市場回復の遅れにより住宅用ドアは前年横ばい、開閉機は新商品発売遅延により減収、商業用ドアは減少幅が予想より縮小
- ②自動ドアは減収となるも増益確保
- ③車両用ドアは運輸業界の設備投資が回復基調で大幅増収

#### <国内子会社>

##### ◆△14.5%の減収

- ①三和タジマはほぼ前年並みを確保
- ②ベニックスはクリーンルーム低迷で大幅減収
- ③昭和フロント、沖縄三和は減収

#### <三和シャッター>

##### ◆△7.0%の減収

- ①設備投資回復遅れの影響で重量シャッターが減収から脱せず
- ②軽量シャッターはガレージ需要等により前年並
- ③ビル・マンションドアは需要回復遅れのため減収
- ④メンテ・サービスは堅調に推移し増収確保

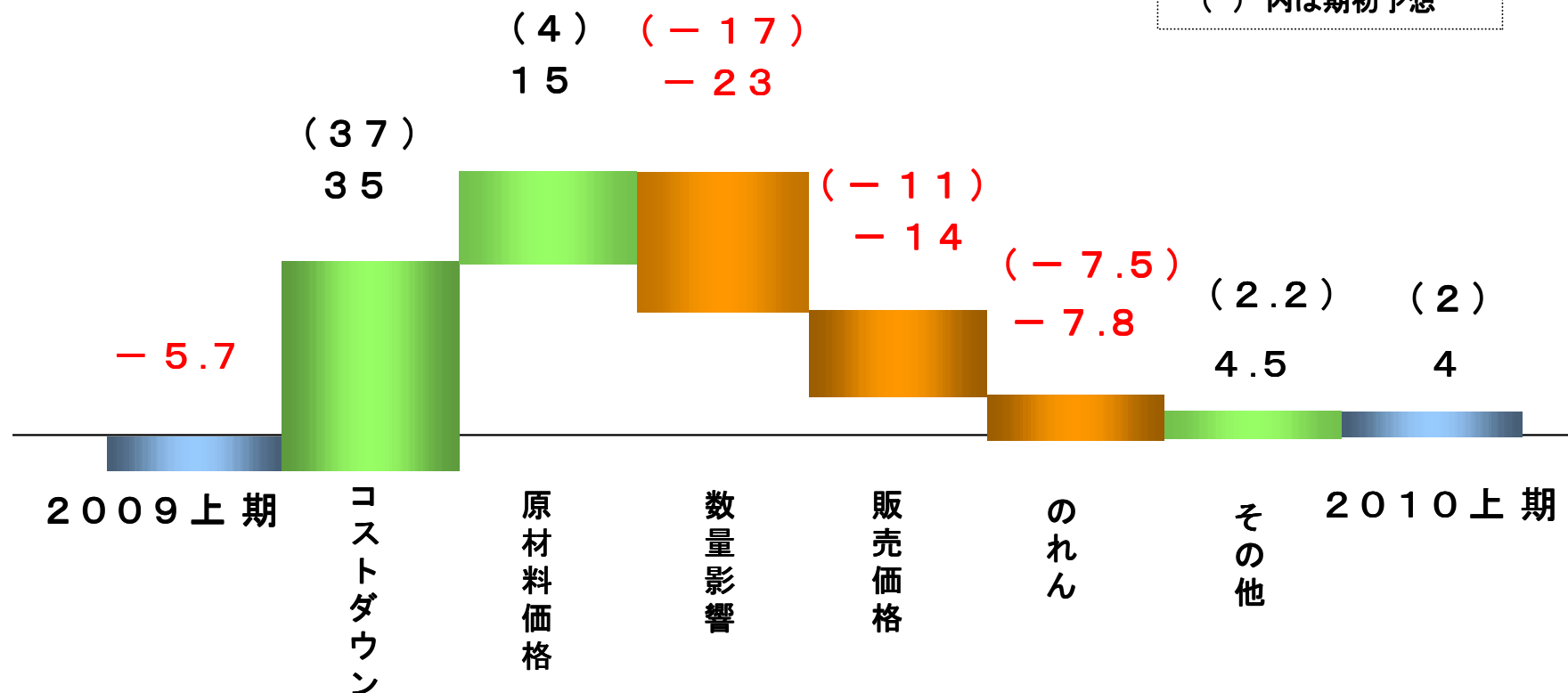


## 6. 営業利益増減要因(連結実績)

### 三和グループ(連結)

単位：億円

( ) 内は期初予想



〈期初予想比〉	◆コストダウン	△2	◆原材料価格	+11	◆数量影響	△6	◆販売価格	△3
	三和シャッター	0.0	三和シャッター	+1.5	三和シャッター	+0.5	三和シャッター	△0.7
	国内子会社	+2.1	国内子会社	△0.1	国内子会社	△2.6	国内子会社	△1.1
	ODC(米国)	△1.0	ODC(米国)	+8.1	ODC(米国)	+2.5	ODC(米国)	△1.4
	NF(欧州)	△2.4	NF(欧州)	+2.2	NF(欧州)	△5.5	NF(欧州)	+0.1

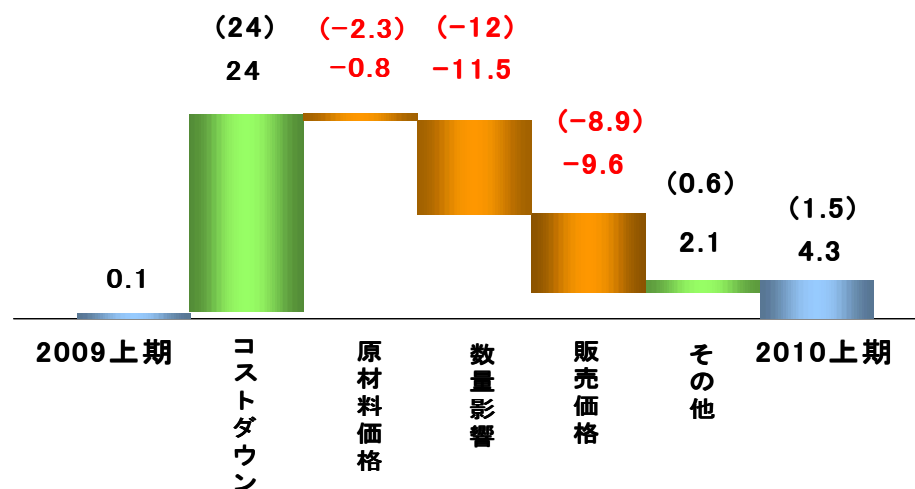
## 6. 営業利益増減要因(セクター別)

※各セクターには相殺項目があるため合計しても前ページの数値とは一致しません

### 三和シャッター

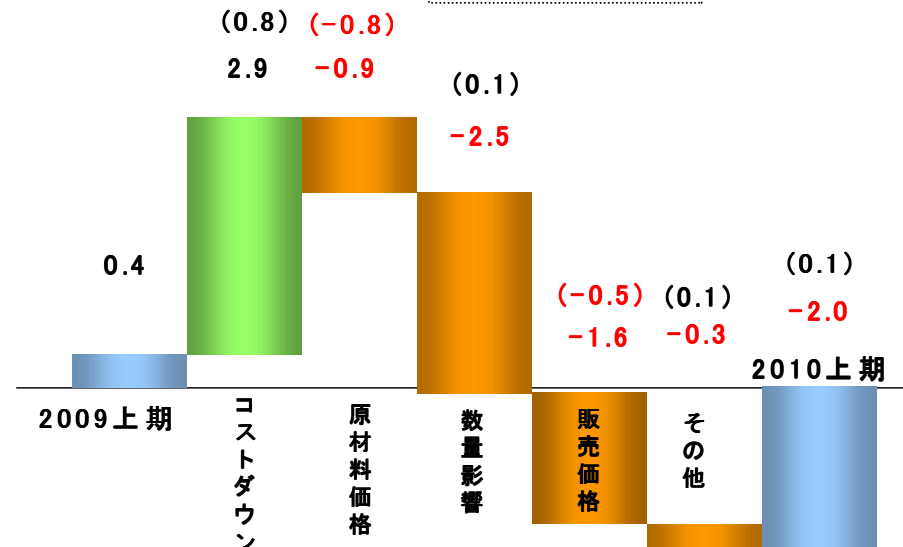
※三和シャッターは、  
同社のみ個別数値

( ) 内は期初予想 単位: 億円



### 国内子会社

( ) 内は期初予想 単位: 億円

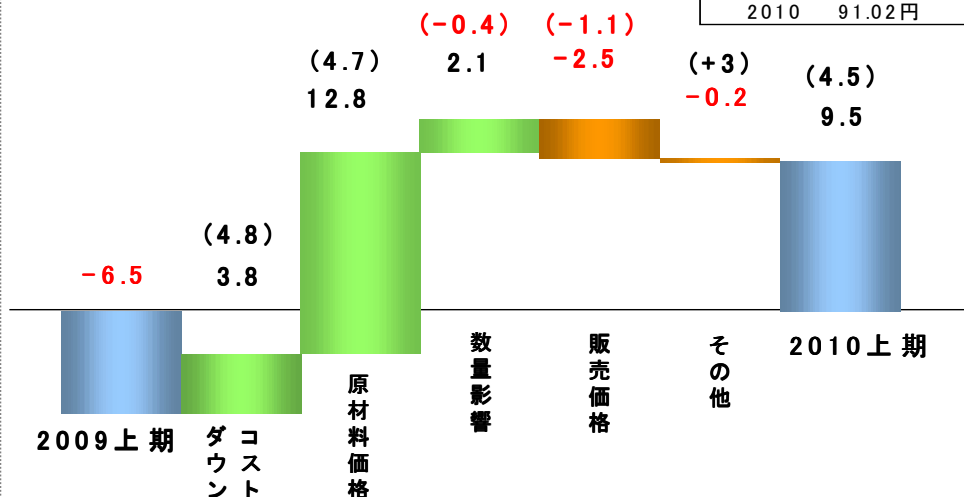


### ODC

単位: 億円

( ) 内は期初予想

為替レート(米ドル)  
2009 95.98円  
2010 91.02円

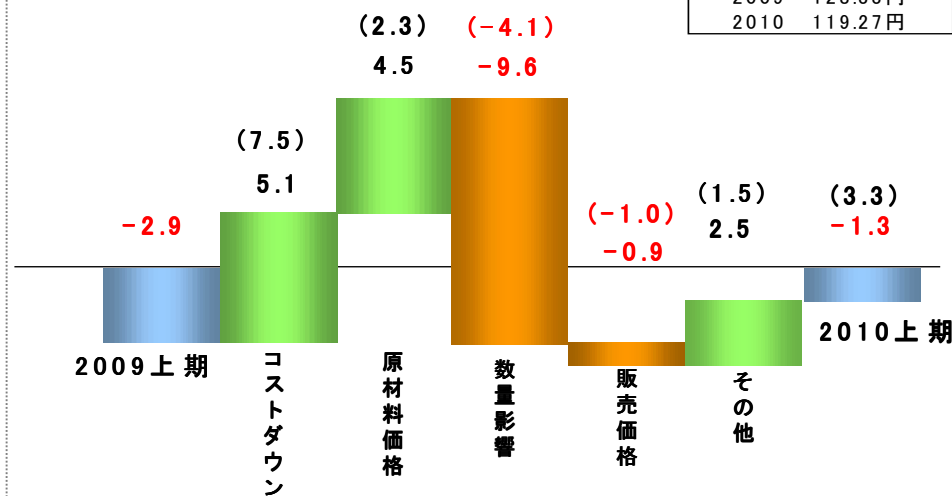


### ノボフェルム

単位: 億円

( ) 内は期初予想

為替レート(ユーロ)  
2009 128.33円  
2010 119.27円



■ 2010年度 通期(予想)  
2010年4月～2011年3月

## 7. 外部環境

### 実質GDP成長率

	2006	2007	2008	2009	2010			2011 予想
					上期実績	下期予想	通期予想	
日本	2.0%	2.4%	-1.2%	-5.2%	3.3%	2.4%	2.8%	1.5%
米国	2.7%	1.9%	0.0%	-2.6%	2.7%	2.6%	2.6%	2.3%
欧州（ユーロ圏）	3.0%	2.9%	0.5%	-4.1%	2.7%	0.7%	1.7%	1.5%
ドイツ	3.2%	2.5%	1.3%	-4.7%	5.5%	1.2%	3.3%	1.5%
中国	12.7%	14.2%	9.6%	9.1%	11.1%	9.8%	10.5%	9.6%

※出典：内閣府「海外経済データ2010.9」、2010-11予想はIMF「World Economic Outlook」2010.10による

※上期実績は年度換算値。暦年ベース

### 建設環境

		2006	2007	2008	2009	2010		2010					
						予想	期初予想						
日本 住宅着工戸数	千戸	1,285	2.9%	1,036	-19.4%	1,039	0.3%	775	-25.4%	824	6.3%	831	7.2%
日本 非住宅着工床面積	千㎡	65,920	0.6%	57,865	-12.2%	53,454	-7.6%	34,859	-34.8%	37,337	7.1%	38,254	9.7%
日本 民間企業設備投資	10億円	87,097	4.7%	88,240	1.3%	82,246	-6.8%	69,645	-15.3%	72,500	4.1%	70,583	1.3%
米国 住宅着工戸数	千戸	1,801	-12.9%	1,355	-24.8%	906	-33.2%	554	-38.8%	620	11.9%	680	22.7%
米国 非住宅着工床面積	百万Sq Ft	1,529	5.3%	1,534	0.3%	1,381	-10.0%	917	-33.6%	512	-44.2%	577	-37.1%
米国 設備投資	10億ドル	1,454	7.9%	1,552	6.7%	1,557	0.3%	1,291	-17.1%	1,355	5.0%	1,323	2.5%
欧州 住宅完工戸数（独仏伊蘭）	千戸	1,011	9.8%	996	-1.4%	932	-6.4%	821	-11.9%	729	-11.2%	704	-14.2%
欧州 非住宅建物投資（独仏伊蘭）	百万ユーロ	98,988	8.5%	103,930	5.0%	106,105	2.1%	97,558	-8.1%	87,543	-10.3%	96,103	-1.5%
ドイツ 住宅完工戸数	千戸	221	3.2%	185	-16.0%	152	-17.8%	137	-10.0%	157	14.6%	137	0.1%
ドイツ 非住宅建物投資	百万ユーロ	28,465	3.6%	30,002	5.4%	32,582	8.6%	33,071	1.5%	31,748	-4.0%	36,310	9.8%

※出典：(日)建設経済研究所2010.10、(米)Blue Chip Economic Indicators2010.08、(欧)Euroconstruct2010.06による。日米の2010設備投資予想はニッセイ基礎研究所

※日本は年度ベース(4-3月)、米欧は暦年ベース(1-12月)

為替レート	2007/12	2008/12	2009/12	2010/12予想
1ドル	114.15	91.03	93.72	87.00
1ユーロ	166.66	127.96	130.56	115.00
				(期中平均)

## 《2010年度通期予想》

	通期予想	修正(6月)予想	修正予想比	上期実績	下期予想	前年実績	前年比(額)	前年比(率)
売上高	2,370億円 【2,470億円】	2,500億円	△130億円	1,106億円	1,264億円	2,320億円	50億円 【+150億円】	(+2.1%) 【6.5%】
営業利益	58億円 【76億円】	60億円	△2億円	4億円	54億円	56億円	2億円 【+19億円】	(+2.2%) 【+34.3%】
経常利益	51億円 【68億円】	55億円	△4億円	1億円	50億円	48億円	3億円 【+19億円】	(+4.6%) 【+40.3%】
当期純利益	△17億円 【△0.5億円】	△13億円	△4億円	△34億円	18億円	△7億円	△10億円 【+6.5億円】	(-) 【+】

## 《通期予想のポイント》

【】内はのれん償却前、09年度為替レート適用の数値。前年との実質対比のために表記したもの。

## 〈要約〉

売上は、日米欧とも外部環境の回復が遅れており、円高影響もあるため、期初予想より△130億円減額（為替影響を除くと△76億円）を見込む。利益は、重点取り組み課題をスピードを上げて推進し、円高影響で期初予想を若干下回るが、営業・経常利益とも増益を確保。純利益は課徴金の影響で赤字となる。

## 売上高

WDドア事業買収が寄与し、為替影響を除いた実質ベースで+6.5%（150億円）の増収見通し。国内は、軽量シャッター、メンテ等の堅調は続くものの、重量シャッター、BMDア等ビル建材の回復が遅れ、△6.2%の減収。米国(ODC)は、WD統合と車輛用ドア増収で62.8%（現地通貨ベース）の大幅増収だが、住宅関連が低水準で推移、商業用も落込み厳しく、WD増加分を除くと減収を見込む。欧州(NF)は、住宅・産業用ドアが年後半に回復傾向を見せているものの、△8.3%（現地通貨ベース）の減収となる。

## 営業利益

WD買収効果、構造改革・コストダウン効果の上積み等により減収影響をカバーし、期初予想並みの利益を確保、2.2%の増益、のれん償却・為替変動を除いた実質ベースでは19億円（34.3%）の大幅増益を見込む。国内は△1.6%の微減益、米国(ODC)は期初予想を上回り\$24百万の大幅増益(+353.6%)、欧州(NF)は減収影響が大きく期初予想を下回るが、ほぼ前期並み(△10万ユーロの減益)の利益を確保する。

## 経常利益

経常利益は、期初予想を4億円下回るが、金融収益と持分法投資損益が予想を下回ることによるもの。前年比では、4.6%の増益、のれん償却・為替変動を除いた実質ベースでは19億円（40.3%）の大幅増益となる。

## 当期純利益

公取課徴金(28億円)の影響で、最終利益△17億円(のれん償却・為替変動を除いた実質ベースでは△0.5億円)を見込む。

## 一株純利益

△6.9円

※ 営業停止影響額は予想困難なため、上記通期予想には含めていません。

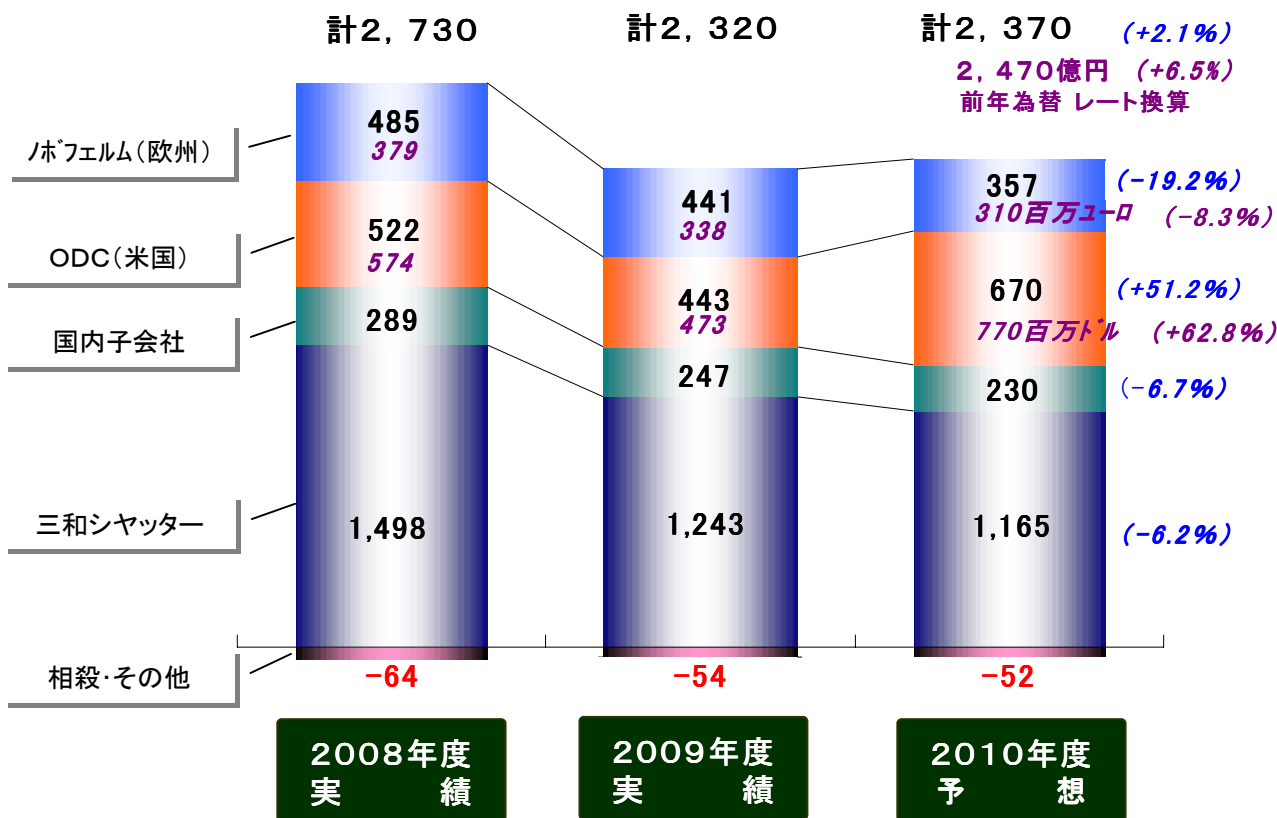
為替レート	2007/12	2008/12	2009/12	2010/12予想
1ドル	114.15	91.03	93.72	87.00
1ユーロ	166.66	127.96	130.56	115.00
			(期中平均)	

# 9. 2010年度売上(セクター別)予想

単位

億円 百万ドル 百万ユーロ  
(前年増減率)

## 売上高



営業停止の影響額は、現在未確定の為 通期予想には含めていない。

※三和シャッターは、同社のみの個別数値  
(三和HDは、相殺・その他に含む)

### <ノボフェルム(欧州)>

#### ◆現地通貨△8.3%の減収見込

- ①ドイツ住宅市場(ガレージドア)は回復見込み
- ②ドイツの景気堅調で商業用・産業用ドアも徐々に回復傾向に入る見込み
- ③オランダは環境悪化影響が継続

### <ODC(米国)>

#### ◆現地通貨+62.8%の大幅増収見込

- ①WDドア事業買収効果(約\$330百万)
- ②住宅市場回復が遅れガレージドア低迷が続き、商業用もマイナス成長が続くも底うちの兆し
- ③自動ドアは横ばいを見込み、車両用ドアは回復に転じ、前年比増収を見込む

### <国内子会社>

#### ◆△6.7%の減収見込

- ①三和タジマは通期で増収見込み
- ②昭和フロント、沖縄三和、ベニックスは産業用を中心とした建設投資減少で減収

### <三和シャッター>

#### ◆△6.2%の減収見込

- ①軽量シャッターは地道な受注活動継続が奏功し前年クリアを見込む
- ②重量シャッターは設備投資回復が遅れ減収継続
- ③ビルマンションドアも建設減少で減収
- ④メンテサービスは堅調を維持し、増収見込み

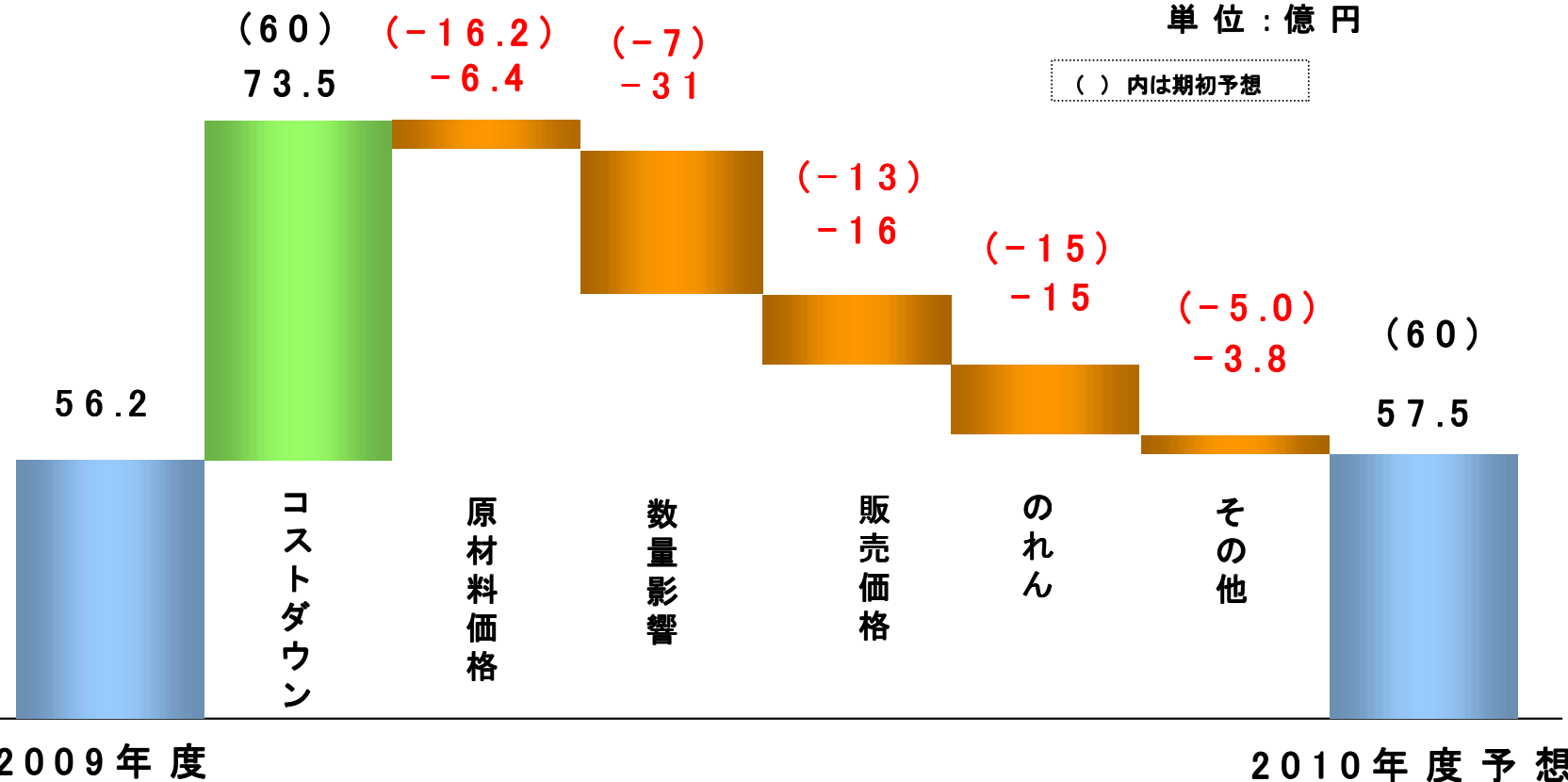
為替レート	2007/12	2008/12	2009/12	2010/12 予想
1ドル	114.15	91.03	93.72	87.00
1ユーロ	166.66	127.96	130.56	115.00
			(期中平均)	

# 10. 営業利益増減要因(連結)

## 三和グループ(連結)

単位：億円

( ) 内は期初予想

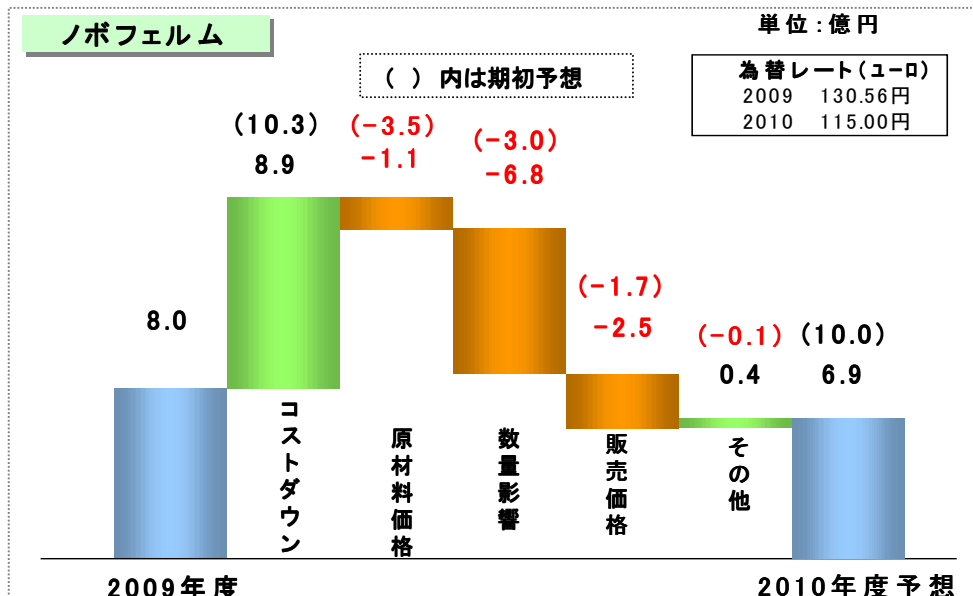
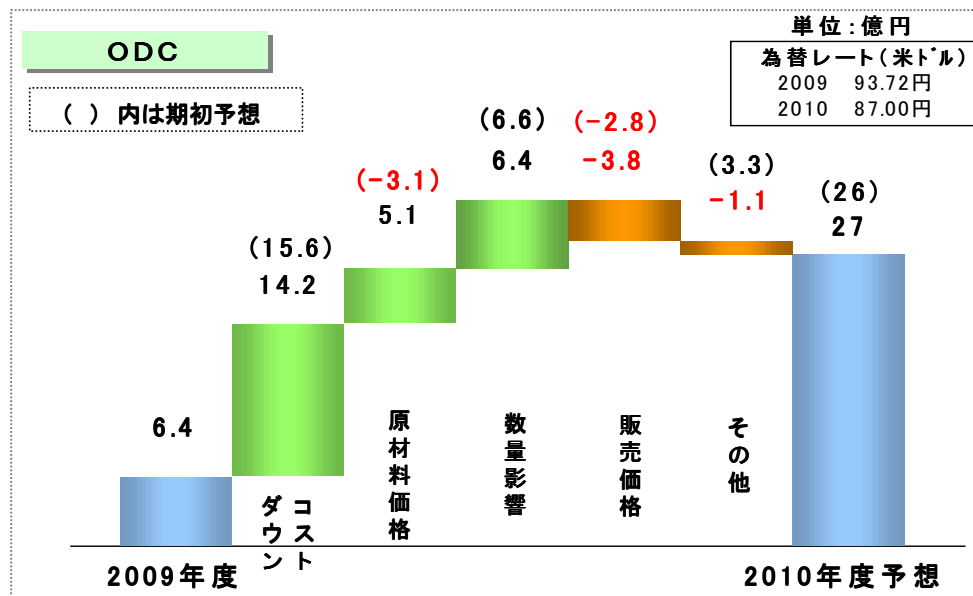
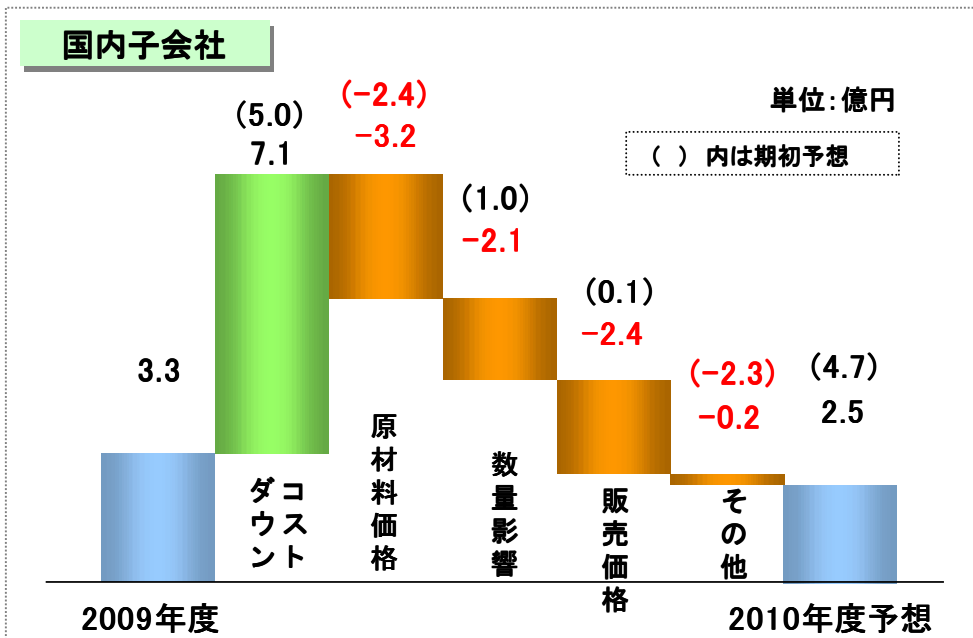
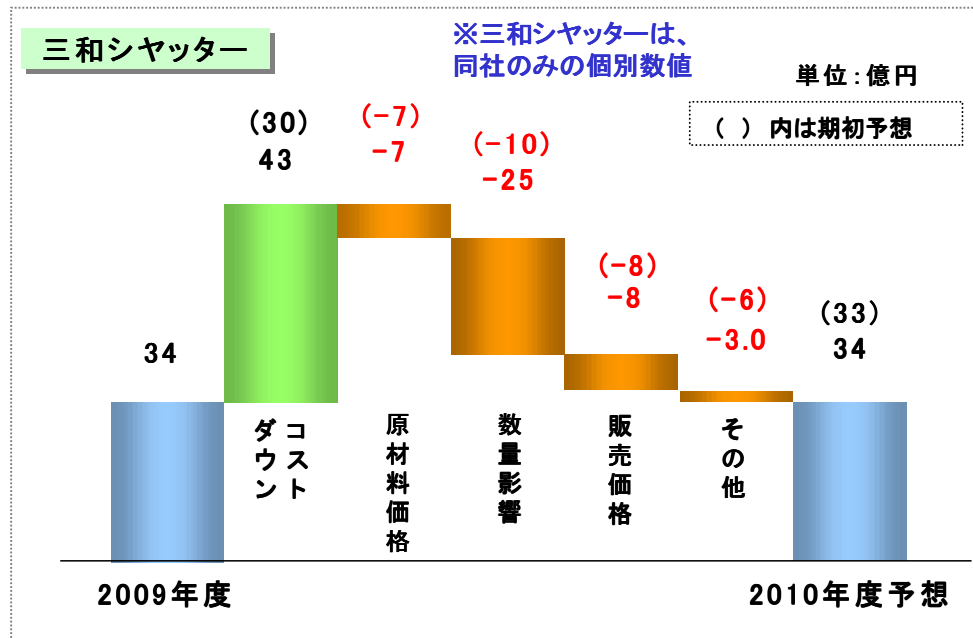


〈 期初予想比 〉	◆コストダウン +13	◆原材料価格 +10	◆数量影響 Δ24	◆販売価格 Δ3
	三和シャッター	+13.0	0.0	Δ15.0
国内子会社	+2.1	Δ0.8	Δ3.1	Δ2.4
ODC(米国)	Δ1.4	+8.2	Δ0.2	Δ1.0
NF(欧州)	Δ1.4	+2.4	Δ3.8	Δ0.8

※ 営業停止影響額は予想困難なため、上記通期予想には含めていません。

# 10. 営業利益増減要因(セクター別)

※各セクターには相殺項目があるため合計しても前ページの数値とは一致しません





## ■ 戦略課題の進捗

## 11. 構造改革及びTCRの取組み(国内)

### ◆国内事業

(百万円)

	実施項目	09年度実績	10年度		
			上期実績	通期予想	期初予想
TCR	ものづくり再構築 商品別CR				
	TCR 計	400	494	1,200	1,000
固定費	人件費(残業時間削減他) 販売管理費				
	固定費 計	2,650	842	1,520	1,100
構造改革	間接部門から成長事業への人員シフト	1,135	807	900	100
	施工体制の再構築	30	163	330	400
	設計部門の内作化	0	116	140	110
	製品ごとの生産拠点の見直し	0	50	80	100
	不採算事業の再構築	0	82	100	100
	構造改革 計	1,165	1,218	1,550	810
三和シャッター工業 計		4,215	2,554	4,270	2,910
国内グループTCR+固定費+構造改革		530	290	710	500
三和シャッター+国内グループ合計額		4,745	2,844	4,980	3,410



## 12. ODC&WD統合シナジー

### 統合シナジー

(千ドル)

	10年度		
	上期実績	通期予想	期初予想
販売(主に開閉機)	120	1,100	1,100
販売拠点の見直し	250	650	800
米国内ドア工場最適化	90	530	600
購買・調達	1,700	6,100	4,100
輸送合理化	320	550	600
その他(物流、IT等)	890	1,050	300
合計	3,370	9,980	7,500



### ◆ODCとWDの統合は順調に進捗、通期では予想を上回る！

- ・WD開閉機のジニーへの切替えは順調に進む、売上への本格寄与は下期以降
- ・セールスセンターは、統合予定の14カ所のうち、10カ所を完了
- ・調達は、鋼材サプライヤーとの交渉終了
- ・工場最適化は2社合計13工場のうち2工場を他工場へ統合発表、うち1工場は今期中に終了見込み



# 13. ODC新型開閉機(NGX)発売について

当初7月発売の予定が、10月販売開始となった。



## ■ 今後の見通し

改良点については作業完了したが、万全を期す為、下記の通り販売予定を見直した。

- ・プロユーザー向け: 10月から販売開始
- ・ホームセンター向け: 2011年春に販売開始予定

## 〈見直し後の投入効果〉

	(期初予想) 10年度予想
販売台数(千台)	(174) 2
売上高(千ドル)	(18,000) 330
営業利益(千ドル)	(3,000) 110

## 住宅用開閉機シェア(当社推定)

06年	09年	10年予想	12年目標
40%	28%	32%	42%

新型開閉機投入によるシェアアップはこれからとなるが、WD統合による数量増が寄与し、4ポイントアップ見込み

The Genuine. The Original.



## 14. NFの構造改革及びTCRの取組み

### ◆NF:欧州



NF Vertriebs GmbH  
ドイツの販売組織を再編統合して  
2010年4月より営業開始

単位:千ユーロ

実施項目		09年度	10年度	
			上期実績	通期見通
NFプロジェクト	物流プロジェクト	1,400	1,180	3,400
	ドイツ販売網の整備			
	ドア・フレーム収益改善			
	産業用ドアコスト削減			
	NFドアプロジェクト			
その他TCR (人件費、管理費削減など)		6,400	3,070	4,350
コストダウン 合計		7,800	4,250	7,750



## 15. アジア事業の基盤拡充

主要3社：宝産三和（中国）、ビナサンワ（ベトナム）、安和金属（台湾）

	09年度実績	10年度上期実績	10年度通期予想
売上高	19億円	8億円	22億円
営業利益	1億円	0億円	1億円

### 上海宝産三和



- ・ 上期は上海万博後の大型物件がなくなり苦戦したが、NF上海とのドア・シャッター共同受注、三和香港の大型案件の受注等、グループ内シナジー効果が出始めている。
- ・ 営業領域拡大、メンテサービス網強化、産業用から民生用への取扱い領域拡大等を推進中。



### ビナサンワ



- ・ 本年度よりホーチミン事務所が本格稼働、受注・売上に貢献したが、全体としてはプロジェクトの工事の遅延等により売上目標に届かず。



### 安和金属

- ・ 日系ゼネコン物件が縮小。
- ・ IT産業を中心としたローカル物件および台湾ゼネコンに対するシェア拡大を目指す。



NF上海



2010年8月に中国政府から現地の防火ドア認定（甲・乙・丙級）取得  
宝産三和のシャッター製品と一括受注活動に目処

## 16. グローバルシナジー

### ◆09年度実績及び10年度目標

ホールディングスに専任部署を設置し、テーマ・推進方法の見直しを実行！

 目標値を上乗せ再設定し、推進

#### 【見直しポイント】

■ 製品・技術のシナジー追求 ⇒ ニーズのある、各国で売れる製品シナジー追求  
製品群ごとに検討部会を設置し、シナジー実現に向けて実行中

- 例) ①高速シートシャッターの製造・販売 : 三和シャッター ⇒ ODC、NF  
 ②窓シャッターの製造・販売 : 三和シャッター ⇒ ODC、NF  
 ③カーポートの市場投入・拡販 : 三和シャッター ⇒ NFオランダ、NFフランス  
 ④WDの低・高級ガレージドアの輸入販売 : ODC ⇒ 三和シャッター、NF

区分	取組みテーマ(一部)	09年度実績	10年度目標(前年比)
製品・技術関係	・シャッター、ドアの電装部品の共有化 ・シャッター、ドア製品のグローバル生産 (グループ会社製品の生産販売)	1.0億円	1.8億円
グローバル調達	・中国製開閉機、部材の購入 ・グループサプライチェーンの構築	6.0億円	6.0億円
合計		7.0億円	7.8億円

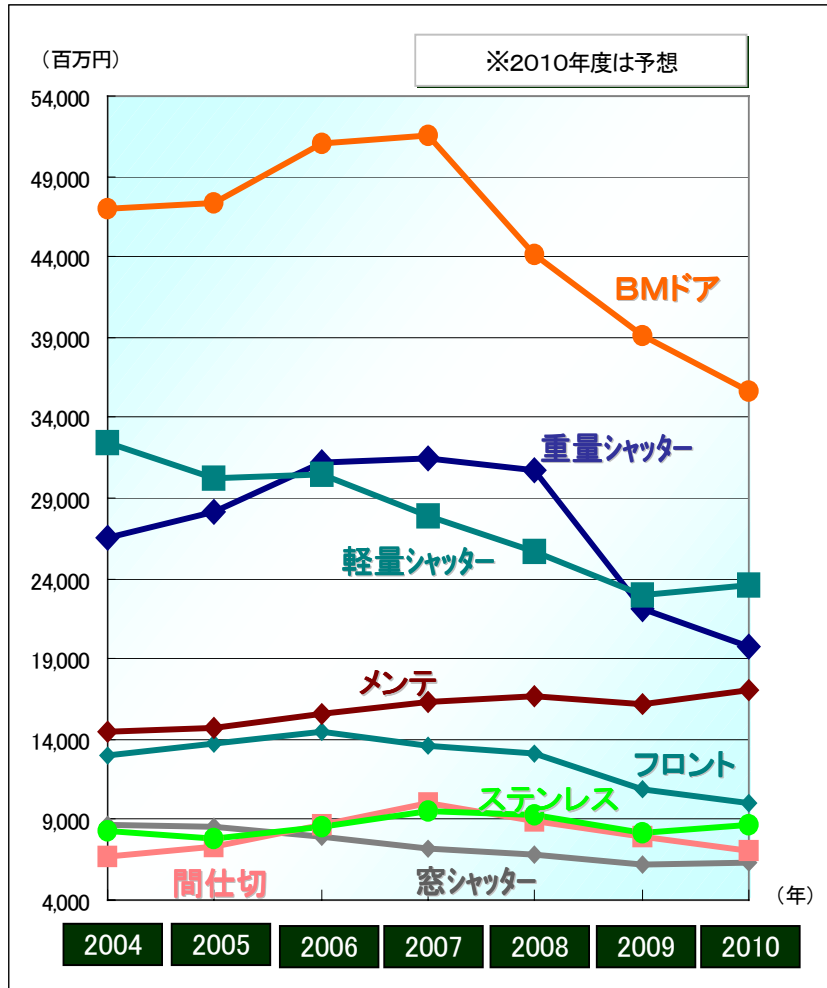
※上記実績金額は、各グループ会社のTCR効果等に含まれる。

## ■ 参考資料



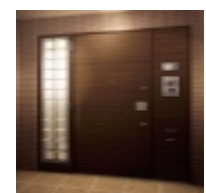
## 参考資料1. 各地域の動向(国内)

### 主要商品売上高推移



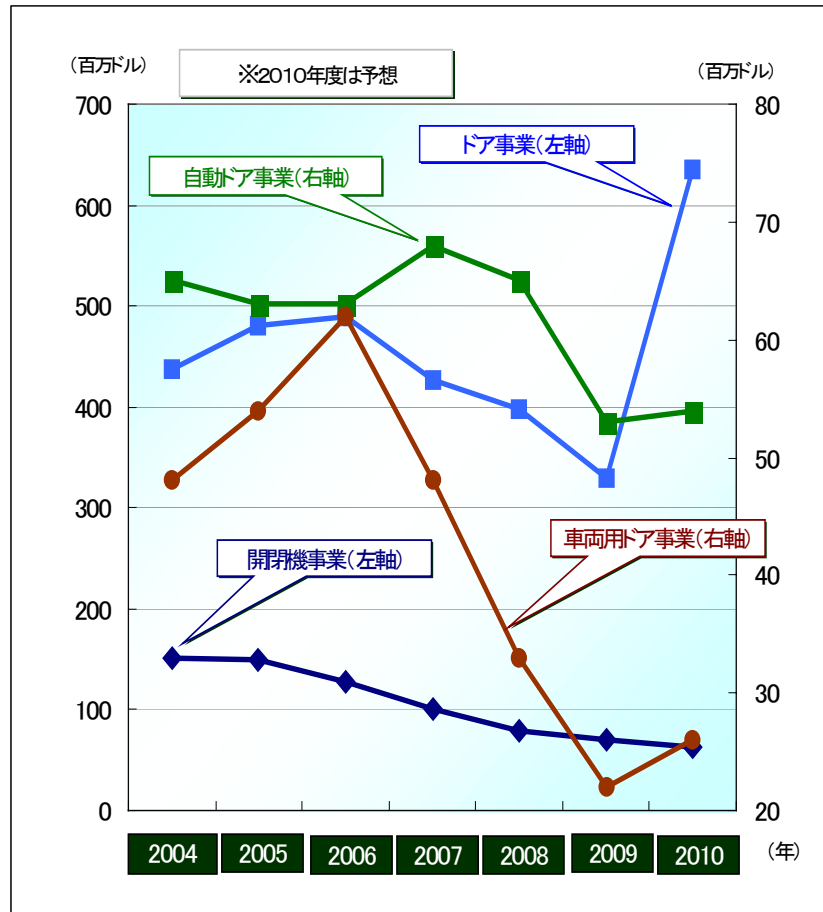
- 軽量シャッターは、長期的に数量減少傾向にあったが、住宅市場の回復及び、きめ細かい顧客との関係構築により増収を確保できる見込み。
- 重量シャッターは、民間設備投資の回復が遅れ、減収が続くものの、今後緩やかに改善する見込み。
- BMドアは、減収見込みではあるが、マンション販売は首都圏で回復中であり、ドア需要も穏やかな回復を見込む。
- フロントは、需要回復力が弱く、減収見込み。昭和フロントはフロントメンテナンス事業を強化し、需要掘り起こしを図る。
- ステンレスは、大型物件数が伸びないものの、三和タジマと三和シャッターの連携を強化、グロス受注を図り、増収を見込む。
- 間仕切は、クリーンルーム需要が落込み減収見込み。但し、学校関係の耐震工事増によるパーティション需要は増える見込み。
- 窓シャッターは、住宅着工回復により増収見込み。
- メンテ・サービス事業は、軽量シャッターの取替え推進強化などにより増収を見込む。

※ 営業停止影響額は予想困難なため、上記通期予想には含めていません。



# 参考資料1. 各地域の動向(ODC:米国)

## 事業別売上高推移

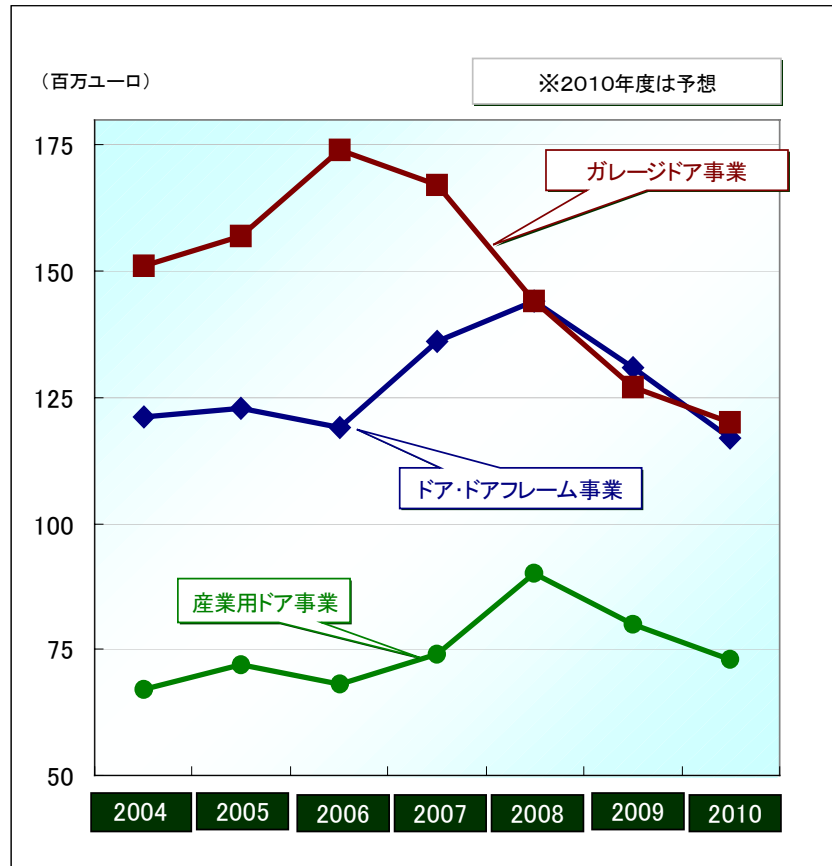


- **ドア事業**: WD統合により大幅増収見込み。旧ODCの住宅ガレージドアは、予想されていた住宅市場の回復が遅れていることに加え、価格競争も更に激化していることで若干減収となる見込み。商業用ドアは、倉庫建設など設備投資が減少傾向にあり、価格戦略、設計折り込み等積極的な販促活動で挽回を図るも、若干減収となる見込み。
- **開閉機事業**: 住宅市場低迷、及び個人消費不振の影響に加え、新商品発売時期延期も重なり減収となる見込み。
- **自動ドア事業**: 商業施設建設は減少傾向にあるものの、戦略的な価格設定、底堅い市場での積極的な販促活動が奏功し、ほぼ横ばいで推移する見込み。
- **車両用ドア事業**: 運輸業界のコンテナ等設備投資が回復傾向に転じたことで増収を見込む。



## 参考資料1. 各地域の動向(ノボフェルム:欧州)

### 事業別売上高推移



■ ガレージドア事業は、住宅市場の低迷で減収傾向が続く中、グループ全体最適に向けた生産、物流、販売体制の再構築を推進。ドイツの新販売会社を通じたプロモーションの強化、英国市場における拡販を図る。

■ ドア・ドアフレーム(ヒンジドア)事業は、住宅用に加え商業用市場の縮小で、減収が続く。生産性改善PJや東欧での生産力向上で収益力を強化するとともに、ドイツ新販売会社による受注強化を図る。

■ 産業用ドア事業は、昨年来の設備投資減少の影響を受け、減収の見通し。商品の拡充による拡販と、生産面でのコストダウンやメンテサービス体制の充実による収益力の強化を図る。



## 参考資料2. 主要経営指標

### 主要経営指標の推移

主要経営指標(連結)		2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	
		実績	実績	実績	実績	期初予想	修正予想
売上高	(百万円)	336,277	323,445	272,970	232,029	250,000	237,000
営業利益 (のれん償却前)	(百万円)	18,575	15,887	8,070 (11,288)	5,624	6,000 (7,500)	5,750 (7,250)
純利益 (のれん償却前)	(百万円)	11,227	8,227	2,312 (5,530)	-725	1,500 (3,000)	-1,650 (-150)
売上高営業利益率 (のれん償却前)	(百万円)	5.5%	4.9%	3.0% (4.1%)	2.4%	2.4% (3.0%)	2.4% (3.1%)
ROE: 純利益/純資産(期首・期末平均) (のれん償却前)		7.4%	5.5%	2.3% (5.4%)	-0.8%	1.6% (3.1%)	-1.7% (-0.2%)
自己資本比率(期末)		47.5%	48.0%	41.3%	38.9%	38.3%	38.1%
期末純資産	(百万円)	151,169	149,330	95,365	96,110	95,700	93,300
期末総資産	(百万円)	318,293	310,957	231,054	246,599	249,900	244,800
期末有利子負債	(百万円)	68,504	70,775	54,482	74,628	65,000	61,000
D/E: 有利子負債/純資産	(倍)	0.45	0.47	0.57	0.78	0.68	0.65
SVA(Sanwa Value Added)	(百万円)	2,409	1,457	-820	-3,376	-2,400	-2,300
EPS: 1株純利益 (のれん償却前)	(円)	44.4	33.4	9.6 (23.0)	-3.0 (0.0)	6.2 (12.5)	-6.9 (-0.6)
発行済株式数(期中平均)	(千株)	253,028	245,972	240,956	240,336	240,336	240,326

(注) SVAは当社独自方式のEVAの数値

## 参考資料3. トピックス(財務)

### 1. 配当について

07年度		08年度		09年度		10年度	
中間	期末	中間	期末	中間	期末	中間	期末予想
6.5円	6.5円	6.5円	3.5円	0円	5円	4円	4円

#### 〈期末配当予想〉

今期配当は、WDのれんや課徴金など特殊要因があるため、“連結純利益の30%を目安とする”という長期的配当方針を一時的に見合わせ、**期末配当は期初予想通り4円を予定**しています。なお、営業停止処分の業績に与える影響は現時点では予想困難なため、業績予想には織り込んでいません。

### 2. 特損の状況

#### 〈特別損失〉

(百万円)

	09年度(参考)	10年度上期実績	10年度予想	期初予想
固定資産処分損	▲3,152	▲44	▲80	0
投資有証売却損、評価損	▲400	▲80	▲80	0
年金改革費用	0	0	▲900	▲900
ODC事業再構築費用	▲370	0	0	0
ODC(WD統合費用)	0	▲184	▲830	▲830
NF事業再構築費用	▲750	▲116	▲150	▲150
買取関連費用	▲440	▲87	▲87	0
公取委課徴金	0	▲2,815	▲2,815	0
その他	▲53	▲45	▲58	0
合計	▲5,165	▲3,371	▲5,000	▲1,880

### 1. 国内の間仕切事業再編(2010年4月)

SANWA  
SHUTTER

VENIX

三和シャッター工業とベニックスの販売エリア、担当顧客の入替えおよび両社の得意分野を生かすための大幅な人事交流を実施。重複していた機能を効率化し、両社の役割を明確化することでグループのメリットを最大限発揮できる体制に。



### 2. 指静脈認証セキュリティドア「ヴィーナスロック」発売(2010年6月)

SANWA  
SHUTTER

生体認証の中でも偽造されにくく確認精度の高い指静脈認証を扉の枠に組み込んだドア。指をかざすだけのワンアクションで解錠でき、ドアと認証装置が一体化されているため設置が簡単。小規模オフィスや医療・福祉施設等の入室管理に。



### 3. 高速シートシャッターがエコマーク認証(2010年9月)

SANWA  
SHUTTER

工場・倉庫の出入り口や間仕切りとして使用する高速シートシャッター「クイックセーバー」がエコマーク認定を取得。一般的な鋼製シャッターに比べて10~20倍の速さで開閉することで、空調効率をアップし省エネに貢献。



### 4. 独エファフレックス社と日本での販売契約を締結(2010年2月)

三和シャッター工業がドイツのシャッターメーカー・エファフレックス社と、日本国内における「超高速シャッター」の販売契約を締結。主力製品であるスパイラルシャッターは高速開閉と高い気密性を特長とし、食品関連の倉庫や配送センターなどで威力を発揮。



### 5. 米国ホートンが全米自動ドアブランドランキング1位獲得

全米の設計事務所を対象にブランド認知度アンケートを実施した結果、ODCの自動ドア事業部門であるホートンが、自動ドアメーカーと聞いて最初に思いつく企業で1位を獲得した。

(1位:Horton, 2位:Stanley, 3位:Dorma)



### 6. NF上海 防火ドアライセンス取得(2010年8月)

中国でスチールドアの製造販売を行っているノボフェルム上海が現地の防火ドア認定(甲・乙・丙級)取得。防火ドアの自社生産が可能になったことで、中国市場でのより一層の拡販を図る。



## 参考資料. 4 セクター別連結業績の概要

(百万円)

	2009年度						2010年度						
	第2四半期累計		第3・第4四半期合計		通期		第2四半期累計			第3・第4四半期合計(予想)		通期(修正予想)	
	(@95.98 @128.33)	前年 増減率		前年 増減率	(@93.72 @130.56)	前年 増減率	予想 (@95.00 @125.00)	(@91.02 @119.27)	前年 増減率		前年 増減率	(@87.00 @115.00)	前年 増減率
<b>売上高</b> [前年為替適用]	<b>108,024</b>	(△23.1%)	<b>124,005</b>	(△6.4%)	<b>232,029</b>	(△15.0%)	<b>112,000</b>	<b>110,609</b>	(2.4%)	<b>126,390</b>	(1.9%)	<b>237,000</b>	(2.1%)
三和シャッター工業	<b>55,727</b>	(△18.6%)	<b>68,527</b>	(△15.7%)	<b>124,254</b>	(△17.0%)	<b>51,000</b>	<b>51,808</b>	(△7.0%)	<b>64,691</b>	(△5.6%)	<b>116,500</b>	(△6.2%)
その他国内子会社	12,064	(△9.4%)	12,586	(△19.1%)	24,650	(△14.7%)	11,250	10,319	(△14.5%)	12,680	(0.7%)	23,000	(△6.7%)
ODC(米国)	\$216,498	(△23.3%)	\$256,387	(△12.1%)	\$472,885	(△17.6%)	\$370,000	\$366,062	(69.1%)	\$403,937	(57.5%)	\$770,000	(62.8%)
ノボフェルム(欧州)	€ 170,208	(△9.3%)	€ 167,683	(△12.2%)	€ 337,892	(△10.8%)	€ 160,000	€ 148,235	(△12.9%)	€ 161,764	(△3.5%)	€ 310,000	(△8.3%)
	21,842	(△30.8%)	22,272	(31.7%)	44,115	(△9.0%)	20,000	17,680	(△19.1%)	17,969	(△19.3%)	35,650	(△19.2%)
<b>営業利益</b> [のれん償却前・前年為替適用]	<b>△573</b>	(-)	<b>6,197</b>	(△8.9%)	<b>5,624</b>	(△30.3%)	<b>200</b>	<b>368</b>	(+)	<b>5,381</b>	(△13.2%)	<b>5,750</b>	(2.2%)
三和シャッター工業	<b>9</b>	(△99.7%)	<b>3,371</b>	(△25.9%)	<b>3,380</b>	(△53.8%)	<b>150</b>	<b>425</b>	(4,576.6%)	<b>2,974</b>	(△11.8%)	<b>3,400</b>	(0.6%)
その他国内子会社	41	(△87.6%)	287	(△26.6%)	329	(△54.7%)	10	△200	(-)	450	(56.8%)	250	(△24.1%)
ODC(米国)	△\$6,806	(-)	\$13,640	(4.3%)	\$6,833	(△68.5%)	\$5,000	\$10,511	(+)	\$20,488	(50.2%)	\$31,000	(353.6%)
ノボフェルム(欧州)	△€ 2,275	(-)	€ 8,375	(30.9%)	€ 6,099	(△24.4%)	€ 2,700	△€ 1,109	(+)	€ 7,109	(△15.1%)	€ 6,000	(△1.6%)
	△292	(-)	1,088	(44.7%)	796	(△22.8%)	337	△132	(+)	822	(△24.4%)	690	(△13.4%)
<b>経常利益</b> [のれん償却前・前年為替適用]	<b>△752</b>	(-)	<b>5,582</b>	(△17.0%)	<b>4,829</b>	(△35.6%)	<b>200</b>	<b>88</b>	(+)	<b>4,961</b>	(△11.1%)	<b>5,050</b>	(4.6%)
三和シャッター工業	<b>191</b>	(△93.5%)	<b>3,575</b>	(△24.8%)	<b>3,766</b>	(△51.1%)	<b>300</b>	<b>638</b>	(233.5%)	<b>3,161</b>	(△11.6%)	<b>3,800</b>	(0.9%)
その他国内子会社	43	(△87.2%)	297	(△23.7%)	340	(△53.2%)	10	△195	(-)	440	(48.1%)	245	(△28.0%)
ODC(米国)	△\$7,369	(-)	\$12,054	(2.1%)	\$4,685	(△75.4%)	\$3,000	\$9,406	(+)	\$19,593	(62.5%)	\$29,000	(519.0%)
ノボフェルム(欧州)	△€ 3,900	(-)	€ 6,275	(56.3%)	€ 2,375	(△12.8%)	€ 1,000	△€ 2,160	(+)	€ 4,160	(△33.7%)	€ 2,000	(△15.8%)
持分法適用会社投資損益	△90	(+)	△113	(-)	△204	(-)	44	△80	(+)	90	(+)	10	(+)
<b>当期純利益</b> [のれん償却前・前年為替適用]	<b>△924</b>	(+)	<b>198</b>	(△94.7%)	<b>△725</b>	(-)	<b>△3,350</b>	<b>△3,419</b>	(-)	<b>1,769</b>	(793.4%)	<b>△1,650</b>	(-)
三和シャッター工業	<b>5</b>	(△99.7%)	<b>123</b>	(△95.6%)	<b>129</b>	(△97.1%)	<b>△2,750</b>	<b>△2,460</b>	(-)	<b>1,260</b>	(924.4%)	<b>△1,200</b>	(-)
その他国内子会社	△32	(-)	168	(△3.4%)	136	(△67.0%)	△20	△101	(-)	221	(31.5%)	120	(△12.2%)
ODC(米国)	△\$6,263	(-)	\$3,767	(△43.0%)	△\$2,495	(-)	\$800	\$4,223	(+)	\$8,776	(133.0%)	\$13,000	(+)
ノボフェルム(欧州)	△€ 2,633	(-)	△€ 1,100	(-)	△€ 3,734	(-)	△€ 300	△€ 2,182	(+)	€ 3,182	(+)	€ 1,000	(+)
持分法適用会社投資損益	△90	(+)	△113	(-)	△204	(-)	44	△80	(+)	90	(+)	10	(+)

1. 2010年度の[ ]内は、のれん償却前数値に前年の為替換算レートを適用した場合の数値であります。
2. 数値は切り捨て。( )内は前年同期増減率、(+)は前年比増加、(-)は前年比減少。
3. 2009年度より在外子会社等にかかる為替換算レートは期中平均レートを使用しています。
4. 上記には、三和ホールディングス及び連結相殺が表示されていないため、合計とは一致しません。



## 参考資料. 5 製品別受注高・売上高 (三和シャッター工業)

(百万円、%)

		2009年度 (H21年度)									2010年度 (H22年度)								
		上期			下期			通期			上期(実績)			下期(予想)			通期(予想)		
		受注高	売上高	構成比	受注高	売上高	構成比	受注高	売上高	構成比	受注高	売上高	構成比	受注高	売上高	構成比	受注高	売上高	構成比
シャッター製品	軽量	(△15.1) 11,618	(△16.1) 11,288	20.3	(△4.0) 11,451	(△4.7) 11,667	17.0	(△10.0) 23,069	(△10.7) 22,955	18.5	(0.2) 11,636	(0.9) 11,394	22.0	(6.2) 12,163	(4.6) 12,205	18.9	(3.2) 23,800	(2.8) 23,600	20.3
	重量	(△42.9) 9,347	(△29.9) 9,902	17.8	(△31.4) 8,703	(△26.7) 12,209	17.8	(△37.9) 18,050	(△28.1) 22,111	17.8	(△7.4) 8,653	(△12.5) 8,666	16.7	(9.7) 9,546	(△8.8) 11,133	17.2	(0.8) 18,200	(△10.5) 19,800	17.0
	小計	(△30.3) 20,965	(△23.2) 21,190	38.0	(△18.2) 20,154	(△17.4) 23,876	34.8	(△24.8) 41,120	(△20.2) 45,067	36.3	(△3.2) 20,289	(△5.3) 20,061	38.7	(7.7) 21,710	(△2.3) 23,338	36.1	(2.1) 42,000	(△3.7) 43,400	37.3
シャッター関連	OSD	(△19.5) 2,367	(△14.9) 2,196	3.9	(△1.9) 2,287	(△6.1) 2,592	3.8	(△11.7) 4,655	(△10.3) 4,789	3.9	(△2.1) 2,317	(△1.1) 2,172	4.2	(8.5) 2,482	(1.3) 2,627	4.1	(3.1) 4,800	(0.2) 4,800	4.1
	その他	(△30.7) 3,468	(△21.1) 3,389	6.1	(△18.5) 2,960	(△19.6) 3,782	5.5	(△25.5) 6,428	(△20.3) 7,172	5.8	(△5.6) 3,191	(△7.8) 2,975	5.7	(6.5) 3,108	(△3.5) 3,524	5.4	(0.1) 6,300	(△5.5) 6,500	5.6
	小計	(△30.7) 5,835	(△21.1) 5,586	10.0	(△18.5) 5,248	(△19.6) 6,375	9.3	(△25.5) 11,083	(△20.3) 11,962	9.6	(△5.6) 5,509	(△7.8) 5,148	9.9	(6.5) 5,590	(△3.5) 6,151	9.5	(0.1) 11,100	(△5.5) 11,300	9.7
ドア製品	ビル・マンション	(△29.2) 18,267	(△5.4) 16,035	28.8	(△21.2) 17,092	(△15.4) 23,007	33.6	(△25.6) 35,359	(△11.6) 39,042	31.4	(△11.4) 16,189	(△11.4) 14,208	27.4	(10.1) 18,810	(△6.6) 21,491	33.2	(△1.0) 35,000	(△8.6) 35,700	30.6
	住宅	(△11.7) 1,509	(△11.8) 1,507	2.7	(△7.2) 1,483	(△7.3) 1,483	2.2	(△9.5) 2,992	(△9.6) 2,991	2.4	(△14.4) 1,291	(△14.4) 1,290	2.5	(△45.5) 808	(△45.4) 809	1.3	(△29.8) 2,100	(△29.8) 2,100	1.8
	小計	(△28.2) 19,776	(△6.0) 17,542	31.5	(△20.3) 18,575	(△15.0) 24,490	35.7	(△24.5) 38,351	(△11.4) 42,033	33.8	(△11.6) 17,480	(△11.7) 15,498	29.9	(6.6) 19,619	(△8.9) 22,301	34.5	(△3.3) 37,100	(△10.1) 37,800	32.4
窓製品	(△27.3) 3,030	(△27.2) 3,025	5.4	(△15.6) 3,163	(△17.1) 3,153	4.6	(△21.8) 6,193	(△22.4) 6,179	5.0	(4.5) 3,166	(4.8) 3,171	6.1	(2.2) 3,233	(2.4) 3,228	5.0	(3.3) 6,400	(3.6) 6,400	5.5	
エクステリア製品	(△19.7) 1,692	(△20.7) 1,663	3.0	(△18.6) 1,553	(△18.2) 1,581	2.3	(△19.2) 3,246	(△19.5) 3,245	2.6	(△9.9) 1,525	(△11.0) 1,480	2.9	(1.4) 1,574	(△3.9) 1,519	2.3	(△4.5) 3,100	(△7.6) 3,000	2.6	
その他の製品	間仕切製品	(△10.0) 2,750	(△0.4) 2,256	4.0	(△16.9) 2,369	(3.4) 3,257	4.8	(△13.3) 5,120	(1.8) 5,513	4.4	(△20.7) 2,179	(△10.9) 2,009	3.9	(14.8) 2,720	(△5.1) 3,090	4.8	(△4.3) 4,900	(△7.5) 5,100	4.4
	ステンレス製品	(△3.6) 1,427	(△21.9) 959	1.7	(△9.8) 1,383	(△12.7) 1,818	2.7	(△6.8) 2,810	(△16.1) 2,777	2.2	(0.0) 1,427	(9.3) 1,048	2.0	(△0.8) 1,372	(1.8) 1,851	2.9	(△0.4) 2,800	(4.4) 2,900	2.5
	フロント製品	(△20.9) 376	(△26.6) 301	0.5	(△5.4) 345	(△6.1) 416	0.6	(△14.2) 722	(△16.0) 717	0.6	(11.4) 419	(27.5) 384	0.7	(9.9) 380	(△0.2) 415	0.6	(10.7) 800	(11.4) 800	0.7
	その他	(△26.0) 2,485	(△24.5) 3,200	5.7	(△16.3) 3,004	(△8.9) 3,556	5.2	(△21.5) 5,489	(△16.2) 6,757	5.4	(△6.8) 2,535	(△4.0) 3,005	5.8	(1.9) 2,764	(△9.9) 2,794	4.3	(△2.4) 5,300	(△7.4) 5,800	5.0
	小計	(△28.7) 7,039	(△18.6) 6,718	12.1	(△18.6) 7,104	(△15.7) 9,048	13.2	(△24.1) 14,143	(△17.0) 15,766	12.7	(△6.5) 6,563	(△7.0) 6,448	12.4	(5.7) 7,236	(△5.6) 8,151	12.6	(△0.6) 13,800	(△6.2) 14,600	12.5
合計	(△28.7) 58,340	(△18.6) 55,727	100.0	(△18.6) 55,799	(△15.7) 68,527	100.0	(△24.1) 114,139	(△17.0) 124,254	100.0	(△6.5) 54,535	(△7.0) 51,808	100.0	(5.7) 58,964	(△5.6) 64,691	100.0	(△0.6) 113,500	(△6.2) 116,500	100.0	
ビル建材部門	(△33.9) 33,625	(△17.6) 30,723	55.1	(△25.6) 30,150	(△19.5) 42,000	61.3	(△30.2) 63,776	(△18.7) 72,723	58.5	(△10.9) 29,954	(△12.2) 26,977	52.1	(10.2) 33,215	(△7.1) 39,022	60.3	(△1.0) 63,170	(△9.2) 66,000	56.7	
店装建材部門	(△17.9) 9,661	(△19.5) 9,249	16.6	(△6.7) 9,222	(△7.4) 9,633	14.1	(△12.8) 18,884	(△13.7) 18,883	15.2	(△1.1) 9,551	(0.4) 9,282	17.9	(5.7) 9,748	(0.9) 9,717	15.0	(2.2) 19,300	(0.6) 19,000	16.3	
住宅建材部門	(△21.2) 6,645	(△21.8) 6,575	11.8	(△14.8) 6,510	(△15.2) 6,554	9.6	(△18.2) 13,155	(△18.7) 13,129	10.6	(△4.5) 6,348	(△4.4) 6,283	12.1	(△10.1) 5,851	(△11.3) 5,816	9.0	(△7.3) 12,200	(△7.8) 12,100	10.4	
メンテ・サービス	(△5.6) 7,584	(△5.6) 7,584	13.6	(0.9) 8,668	(0.9) 8,668	12.6	(△2.2) 16,253	(△2.2) 16,253	13.1	(4.2) 7,904	(4.2) 7,904	15.3	(6.1) 9,195	(6.1) 9,195	14.2	(5.2) 17,100	(5.2) 17,100	14.7	
その他	(△5.6) 822	(△5.6) 1,593	2.9	(0.9) 1,247	(0.9) 1,669	2.4	(△2.2) 2,069	(△2.2) 3,263	2.6	(4.2) 776	(4.2) 1,359	2.6	(6.1) 953	(6.1) 940	1.5	(5.2) 1,730	(5.2) 2,300	2.0	
		金額			金額			通期増減額			金額			金額			通期増減額		
手持残高	65,894			53,468			△9,939			57,013			51,287			△2,181			
うち仕掛品	15,416			11,641			△57			15,383			10,300			△1,341			

1. ( )内は、前年増減率を示す。 2. 手持残高は、未発注・未仕入・仕掛品の合計で示す。

## 参考資料. 6 設備投資額と減価償却費(連結)

(百万円)

	2008年度		2009年度		2010年度(予想)	
	上期	通期	上期	通期	上期	通期
<b>設備投資額</b>	<b>3,658</b>	<b>6,508</b>	<b>2,146</b>	<b>3,894</b>	<b>1,314</b>	<b>4,247</b>
三和シャッター工業	806	2,598	1,244	1,871	612	1,850
三和ホールディングス	413	709	29	142	34	219
為替レート ( )内は千ドル表示	106.42 (\$5,092)	91.03 (\$7,586)	95.98 (\$3,279)	93.72 (\$7,524)	91.02 (\$3,591)	87.00 (\$13,095)
ODC	541	690	314	705	326	1,139
為替レート ( )内は千ユーロ表示	168.07 (€10,465)	127.96 (€18,205)	128.33 (€1,180)	130.56 (€8,517)	119.27 (€2,685)	115.00 (€8,342)
Novoform	1,758	2,329	536	1,112	320	959
国内連結子会社	137	179	20	62	19	78
<b>減価償却費</b>	<b>5,824</b>	<b>8,306</b>	<b>2,405</b>	<b>4,825</b>	<b>3,424</b>	<b>6,762</b>
三和シャッター工業	711	1,478	667	1,391	645	1,381
三和ホールディングス	295	615	302	606	285	572
ODC	492	1,076	439	964	1,001	1,930
Novoform	1,115	1,651	847	1,562	656	1,263
国内連結子会社	66	141	62	127	53	114
のれん償却額	3,144	3,342	84	172	781	1,500
<b>有形固定資産償却費</b>	<b>2,374</b>	<b>4,399</b>	<b>2,056</b>	<b>4,077</b>	<b>2,188</b>	<b>4,343</b>
三和シャッター工業	563	1,172	526	1,097	413	893
三和ホールディングス	291	605	296	594	279	560
ODC	466	1,024	408	876	877	1,687
Novoform	990	1,462	765	1,390	570	1,098
国内連結子会社	62	135	59	119	47	103
<b>無形固定資産償却費</b>	<b>3,450</b>	<b>3,906</b>	<b>348</b>	<b>747</b>	<b>1,236</b>	<b>2,419</b>
三和シャッター工業	147	306	141	294	232	488
三和ホールディングス	4	10	6	12	6	12
ODC	25	52	31	87	123	242
Novoform	125	188	81	172	86	164
国内連結子会社	3	6	3	8	5	11
のれん償却額	3,144	3,342	84	172	781	1,500

## 参考資料. 7 2010年度ODC業績予想

(千ドル・%)

		2008年度		2009年度						2010年度					
		通 期		上 期		下 期		通 期		上 期(実績)		下 期(予想)		通 期(予想)	
部門別売上高	ドア部門	(△7.0)		(△23.4)		(△10.8)		(△16.9)		(105.3)		(82.8)		(92.7)	
		396,669	69.1	146,064	67.5	183,636	71.6	329,700	69.7	299,803	81.9	335,596	83.1	635,400	82.5
	開閉機部門	(△21.4)		(△20.2)		(△1.0)		(△11.5)		(△12.8)		(△8.2)		(△10.4)	
		78,955	13.8	34,398	15.9	35,502	13.8	69,900	14.8	30,011	8.2	32,588	8.1	62,600	8.1
	自動ドア部門	(△4.6)		(△10.5)		(△24.5)		(△18.2)		(△8.7)		(10.5)		(1.1)	
		64,846	11.3	26,109	12.1	26,925	10.5	53,034	11.2	23,843	6.5	29,756	7.4	53,600	7.0
	車両部門	(△30.8)		(△48.3)		(△16.5)		(△34.9)		(28.9)		(15.2)		(21.5)	
		33,234	5.8	9,927	4.6	11,720	4.6	21,647	4.6	12,798	3.5	13,501	3.3	26,300	3.4
売上高		(△10.8)		(△23.3)		(△12.1)		(△17.6)		(69.1)		(57.5)		(62.8)	
		573,706	100.0	216,498	100.0	256,388	100.0	472,886	100.0	366,062	100.0	403,937	100.0	770,000	100.0
営業利益		(△47.8)		(-)		(4.3)		(△68.5)		(+)		(50.2)		(353.6)	
		21,728	3.8	△6,806	△3.1	13,640	5.3	6,834	1.4	10,511	2.9	20,488	5.1	31,000	4.0
経常利益		(△50.9)		(-)		(2.1)		(△75.4)		(+)		(62.5)		(519.0)	
		19,029	3.3	△7,369	△3.4	12,054	4.7	4,685	1.0	9,406	2.6	19,593	4.9	29,000	3.8
当期純利益		(△63.4)		(-)		(△43.0)		(-)		(+)		(133.0)		(+)	
		9,229	1.6	△6,263	△2.9	3,767	1.5	△2,496	△0.5	4,223	1.2	8,776	2.2	13,000	1.7
E B I T		(△49.4)		(-)		(△1.8)		(△74.4)		(+)		(62.7)		(454.8)	
		21,298	3.7	△7,107	△3.3	12,568	4.9	5,461	1.2	9,853	2.7	20,446	5.1	30,300	3.9
E B I T D A		(△36.4)		(-)		(△8.6)		(△52.5)		(+)		(73.1)		(233.3)	
		33,121	5.8	△2,524	△1.2	18,271	7.1	15,747	3.3	20,858	5.7	31,627	7.8	52,485	6.8

1.( )内は前年増減率を示す。

2.EBITおよびEBITDAには、特別損益を含まない。

3. 2010年度のドア部門にWD部門業績を含む。

## 参考資料. 8 2010年度NF業績予想

(千ユーロ、%)

		2008年度		2009年度				2010年度							
		通 期		上 期		下 期		通 期		上 期		下 期(予想)		通 期(予想)	
所在地別	ドイツ	(3.3) 273,078	72.1	(△7.8) 123,733	72.7	(△9.1) 126,349	75.3	(△8.4) 250,082	74.0	(△14.7) 105,567	71.2	(△2.1) 123,733	76.5	(△8.3) 229,300	74.0
	フランス	(8.7) 88,935	23.5	(△11.0) 42,066	24.7	(△10.7) 37,193	22.2	(△10.9) 79,259	23.5	(△14.3) 36,046	24.3	(△6.6) 34,754	21.5	(△10.7) 70,800	22.8
	イタリア	(7.7) 24,567	6.5	(△14.0) 10,135	6.0	(△11.0) 11,382	6.8	(△12.4) 21,517	6.4	(△9.2) 9,198	6.2	(0.2) 11,402	7.0	(△4.3) 20,600	6.6
	オランダ	(9.9) 66,295	17.5	(△7.1) 30,587	18.0	(△17.5) 27,514	16.4	(△12.4) 58,101	17.2	(△17.4) 25,264	17.0	(△9.4) 24,936	15.4	(△13.6) 50,200	16.2
売上高		(0.7) 378,673	100.0	(△9.3) 170,208	100.0	(△12.2) 167,684	100.0	(△10.8) 337,892	100.0	(△12.9) 148,236	100.0	(△3.5) 161,764	100.0	(△8.3) 310,000	100.0
営業利益		(3.4) 8,065	2.1	(-) △2,275	△1.3	(30.9) 8,374	5.0	(△24.4) 6,099	1.8	(+) △1,109	△0.7	(△15.1) 7,109	4.4	(△1.6) 6,000	1.9
経常利益		(△52.4) 2,723	0.7	(-) △3,900	△2.3	(56.3) 6,275	3.7	(△12.8) 2,375	0.7	(+) △2,160	△1.5	(△33.7) 4,160	2.6	(△15.8) 2,000	0.6
当期純利益		(△124.7) 428	0.1	(-) △2,633	△1.5	(-) △1,101	△0.7	(-) △3,734	△1.1	(+) △2,182	△1.5	(+) 3,182	2.0	(+) 1,000	0.3
E B I T		(△24.4) 8,719	2.3	(-) △1,386	△0.8	(21.8) 8,661	5.2	(△16.6) 7,275	2.2	(+) △1,203	△0.8	(△5.3) 8,203	5.1	(△3.8) 7,000	2.3
E B I T D A		(△22.6) 21,621	5.7	(△36.7) 5,219	3.1	(4.9) 14,025	8.4	(△11.0) 19,244	5.7	(△17.5) 4,305	2.9	(△2.5) 13,680	8.5	(△6.5) 17,986	5.8

1. IFRSで作成したものを日本基準に組替えて示す。
2. 所在地別売上高は各国所在各社の単純合算数値です。上段( )は前年増減率を示す。
3. EBITおよびEBITDAには、特別損益を含まない。
4. 2010年度よりドイツ販売会社への各社売上高は相殺としてドイツ国内に含めて示す。